

〔国際会議開催〕

申請者	姫路獨協大学 准教授 八木 直美	2195013
国際会議名称	第 50 回 IEEE 多値論理国際シンポジウム	
開催期間	2020 年 11 月 9 日～11 月 11 日	
開催場所	ホテルメリージュ（宮崎県宮崎市）〈ハイブリッド開催〉	
申請者の役割	会計担当	

概 要：

本会議では、Society 5.0 を推進すべく、仮想空間と現実空間を高度な融合のための技術の一つとして多値論理をキーワードに、多くの研究者が一堂に会し、最先端の理論、技術およびそれらの応用について議論した。本会議を日本でハイブリッド開催することで、我が国がこの分野の研究をリードしていることを全世界の研究者に大きくアピールできると共に、我が国の近未来のエレクトロニクス産業を支えるための科学技術研究の方向性を見出す絶好の機会となった。コンピュータの高性能化、高機能化および高速化、人工知能の応用等に関する議論の場として、毎年多くの研究者が参加し、どのようにして「人間と機械の調和を促進するか」に関し、国内外から 84 名の研究者らにより議論を行った。日本での開催により、現在のコンピュータハードウェアの高性能化や新たなコンピュータ設計法、人工知能を用いた様々な応用など Society 5.0 推進の起爆剤となることを意義の 1 つとした。

エレクトロニクス、コンピュータ設計技術、医療情報技術、製造技術、人工知能、ライフサイエンス、パターン認識の最新技術等の多岐に渡る最先端のテクノロジーの現状を把握することにより、将来への展望および技術知識の相互利用が可能となる。更に、世界的な学者の講演を聴くことで、参加者のモチベーションを向上させ、研究の方向性のデザインを描けるようになる。多値論理はコンピュータのハードウェアとソフトウェア、ネットワーク、人工知能の分野を包含するため、多値論理国際会議では、異分野の研究者との議論が可能となり工学、情報科学、エレクトロニクスを包含した科学技術全体としての発展の方向性とその具体的な方法論を修得できる機会となった。